

生成AIディベート

目標: 生成AIとの付き合い方について考えよう!

○ディベートとは

ディベートとは「あるテーマに関して、対抗する2組が観客を論理的に説得するために議論すること」である。相手を言い負かすことが目的ではない。賛成派か反対派になるかは当日決まる。

○ディベートの流れ

		時間
①	作戦会議	5分
②	賛成側立論	3分
③	賛成側への質問	8分
④	反対側立論	3分
⑤	反対側への質問	8分
⑥	作戦会議	5分
⑦	反対側最終弁論	3分
⑧	賛成側最終弁論	3分
		38分

○役割分担(4名1チーム)

立論…()
 質問…()
 返答…()
 最終弁論…()

○授業の流れ(全3回)

- ①ディベートについて確認。ディベート準備。
- ②ディベート準備。チーム内打ち合わせ。
- ③ディベート本番
 ディベートに参加しない観客は、どちらのチームに説得力があるか判断するとともに、ディベートの内容について自分だったらどうしたかをタブレットに入力する。

○ディベートのテーマ 「ChatGPT に代表される生成AIの使用を学校教育で制限すべきか」

生成AIに分類される対話型AIは、利用者が音声やテキストで入力すると自然な文章を生成し、応答してくれる人工知能を指す。2022年に対話型AIである「ChatGPT」が登場したことで急速に注目を集めている。社会の仕組みを変えるこの技術については、メリット・デメリットが数多く指摘されており、学校教育においても、使用について何らかのルールが定められていくと考えられる。今回は、生成AIの使用を学校教育で制限すべきか否かを考えていく。

cf)「教育現場で ChatGPT を利用する際の利点と欠点」に対する ChatGPT の回答

利点: ChatGPT は学校で使うと、いろんな情報がすぐ手に入ったり、質問に答えたりできて便利。いつでも使えて、たくさんのことを教えてくれる。たとえば、勉強の説明やクリエイティブなアイデアを出すのに役立つ。
 欠点: ChatGPT だけでは先生の代わりにはならない。正しい情報やマナーを学ぶためには、本物の先生が必要。また、感情や関係を理解するのは難しいし、ミスを直すのも難しく、使いすぎには気をつけたいといけない。

○評価材料

- ①ディベート準備の充実度(タブレット)
- ②ディベートへの参加度

○参考資料

- ①「教育現場で生成AI～可能性と課題は」
- ②「AI技術が教育に与える影響とは？メリットとデメリットも解説」
- ③「アンケート調査にみる「生成AI」のビジネス利用の実態と意向」

①



②



③



全体のテーマ					【完成の定義】	
班のテーマ					班員1人に確認してもらおう！	
取り組むこと		メンバー	自分がやること	作業中	完了したこと	
情報収集						
考える・整理						
プレゼン準備						